

●こども分科会

1年間の取り組み（平成29年8月～平成30年7月）

1 設立趣旨

- こども…育ちづらさ
 - 親 …育てづらさ
- } 子育てしやすい環境 = 誰もが住みやすい町づくり

※子育て…相談(核となる場)と地域づくり(つながりをつくる)が必要

2 1年間の取り組み（平成29年8月～平成30年7月）

回数	月日	内 容
第1回	H29. 8. 23	ワーキングチームでの検討会
第2回	H29. 9. 13	ワーキングチームでの検討会（久留米市版曼荼羅図について他）
第3回	H29. 11. 1	ワーキングチームでの検討会（地域の社会的活動団体の実態についての把握や情報整理）
第4回	H29. 11. 6	ワーキングチームでの検討会
第5回	H29. 11. 29	ワーキングチームでの検討会
第6回	H29. 12. 15	みんくるでの社会的活動団体の情報収集
第7回	H29. 12. 21	久留米市社会福祉協議会での社会的活動団体や取り組みの情報収集
第8回	H30. 1. 29	ワーキングチームでの検討会（久留米市版曼荼羅図の具体化に向けて）
第9回	H30. 2. 13	ワーキングチームでの検討会（ワークショップ開催について、時期やメンバー）
第10回	H30. 3. 6	ワークショップ開催について
第11回	H30. 5. 1	ワークショップの開催について
第12回	H30. 6. 4	ワークショップ開催について（ママチャレ、輪を作ろう、お母さん大学の方々と交えて）
第13回	H30. 6. 7	くるめ学生ネットワーク定例会（みんくる）での情報収集
第14回	H30. 7. 3	ワークショップ開催について
第15回	H30. 7. 24	ワークショップ開催について

3 課題

- (1) 分科会のあり方について（メンバー、内容、プロジェクト方式、広報等）
- (2) 他分野（こども子育てサポートセンター等）との連携
- (3) 中間支援組織との連携や働きかけ（社会的活動団体と個人とのマッチングのあり方等）
- (4) 障害児に関する課題についての議論や対応策等

4 事業計画

(1) 人と人をつなぐアクションプラン＝地域づくり

- ① 公助に頼らず、共助・互助・自助の力をつける
- ② 面白いことをやっていると人が集う場、エンパワーの生成
- ③ 資源を知って評価していく（図に落とすことで足りない資源を把握していく→曼荼羅図作成や情報の可視化）

(2) 相談支援・専門家・保護者の力をつける・センスを磨く

- ① 情報収集した資源をつかう
- ② コーディネート・ファシリテートする人材づくり

(3) すべてのこどもの居場所を考えるワークショップを開催予定

開催時期：平成30年9月7日、8日

講師：中島 みちる氏（滋賀県育能インストラクター）

（障害者問題啓発事業とのタイアップ）

(4) 基幹センター機関紙における情報発信

（平成31年第4版をこども分科会で担当予定）